

令和6年度「親の力」をまなびあう学習プログラム」まとめ

令和7年4月
広島県立生涯学習センター

1 基本方針

広島県教育委員会では、親の教育力の低下やモラルの低下など、家庭の教育力の低下が指摘される中、家庭の教育力の向上を目指すことを目的として、平成20年度から、広島県教育委員会が開発した「親の力」をまなびあう学習プログラム（以下「親プロ」という。）を活用した学習機会の充実に取り組んでいる。平成23年度からは、市町が実施する「親プロ」の支援を行うこととし、教材の改善・開発、ファシリテーターの資質向上に取り組んでいる。

また、平成29年2月に策定された「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランを踏まえ、ネウボラ等で活用できる教材の普及を行っている。

2 令和6年度の成果

(1) 親プロ講座の実績

	R 5			R 6		
	市町 (高等学校以外)	親子コミ※内数	高等学校	市町 (高等学校以外)	親子コミ※内数	高等学校
講座数	202	10	3	159	28	2
実施市町	16	5	3	17	2	2
受講者数	2,618	129	82	2,501	374	106

※親子コミ…親子コミュニケーション応援編（コー1、2、3、4、5、6）

(2) 講座実施に係る主な取組

呉市での親プロファシリテーターフォローアップ講座の実施

コロナ禍が明け、親プロ講座を再開させ、ファシリテーターの皆さんにも活躍していただきたいという思いで、県と市が連携してフォローアップ講座を実施し、8名の方が受講された。これを機に、家庭教育支援関係の研修参加も増え、他市町のファシリテーターと、交流の機会をもつことができた。また、前年度は0回だった親プロ講座も、1回開催することができた。

大竹市市での親プロファシリテーター養成講座の実施

県と市が連携して、3年ぶりに養成講座を実施し、4名の方が受講された。家庭教育支援の概要や親プロファシリテーターの役割についての講義及び演習を、当センター職員（親プロファシリテーター）が行った。講座後、新しく親プロファシリテーターになられた方が、親プロ講座を実施。4年振りの開催となった。

意見交流会実施

新しいプログラム案を開発するための意見交流会を実施し、親プロファシリテーター及び各市町の家庭教育支援を担当する行政職員等11名が参加した。「児童生徒の現状と家庭教育支援の課題」について、府中町教育委員会青少年教育相談員の奥金実氏に講義をしていただき、悩む親子への支援について学んだ。講義内容を基に、各グループで新プログラム案を考え、全体共有を行った。今後、ここで出た意見をまとめ、6月・8月に実演会、3月に完成披露会を行う。

大野東市民センターで親プロ講座開催

教材番号：24

プログラム名：かかわってみて・・・～地域の大人ができること～（アレンジ版）

令和6年度6月から「こどもの居場所@おおのひがし」を始めるにあたり、地域の大人として子供を見守るメンバーの気持ちを揃えるために親プロ講座が開催され、10名が参加した。自分が子供だった頃にどんな場所でどんな遊びをしていたか振り返った後、今の子供たちはどんな遊びをしているか、子供の健やかで豊かな成長のために、自分たちはどんな大人であったらよいか等を話し合った。

地域の大人ができることについて、それぞれの立場で考え、意見を出し合うことで、子供を知ることや子供たちとのコミュニケーションの大切さに気付き、「こどもの居場所@おおのひがし」を実施するうえでの意識統一を図ることができた。

(3) 教材の改善

「親の力」をまなびあう学習プログラム」意見交流会開催。

(4) 養成したファシリテーターへの支援

アウトリーチ型家庭教育支援研修、親プロファシリテーターステップアップ研修（オンラインでの実施）

【研修内容】講義、実践発表、情報提供、意見交流等

(5) ホームページ、メールマガジン等による情報提供

広島県立生涯学習センターホームページ「ばれっとひろしま」で市町やファシリテーターの取組を支援する情報を提供。メールマガジンにて、各種研修の案内、報告を発信した。

(6) 市町が実施するファシリテーター養成講座及びフォローアップ講座の支援

○養成講座実施市町数：5市町（福山市、府中市、大竹市、東広島市、府中町）

※呉市は、東広島市の講座に参加。広島市は、東広島市・府中町の講座に参加。

○フォローアップ講座実施市町数：2市町（呉市、東広島市）

○地域課題対応研修支援：廿日市市（令和6年度「親の力」をまなびあう学習プログラム」ファシリテーターフォローアップ&交流会）

3 令和7年度の取組予定

(1) 教材や講座の広報

(2) ファシリテーターへの支援

（アウトリーチ型家庭教育支援研修会、親プロファシリテーターステップアップ研修）

(3) ホームページによる情報提供

(4) 市町が実施するファシリテーター養成講座及びフォローアップ講座の支援

当分実施のなかった市町は、講義だけでなく演習の支援も行う。

(5) 「親プロ」講座実施の促進

市町訪問で親プロ講座の実施をお願いする。

9月（前期）及び3月（後期）に、各市町の親プロ講座実施状況を報告していただく（最終報告は4月第1週の金曜日）。

(6) 新プログラム開発

令和6年度「親の力」をまなびあう学習プログラム」意見交流会で出された新プログラム案を基に、新プログラム展開案を作成する。

6月・8月に実演会を行い、親プロファシリテーター及び各市町の家庭教育支援を担当する行政職員の方々から御意見をいただき、ブラッシュアップする。

3月に完成披露会を行い、親プロファシリテーター及び各市町の家庭教育支援を担当する行政職員の方々に体験していただき、各市町での実施をお願いする。

ホームページで、新規プログラムの広報を行う。

令和8年度の市町訪問で、広報する。